

大成した劇作家

なが た ひで お

長田秀雄

Nagata Hideo



明治 18 年 (1855) ~ 昭和 24 年 (1949)

東京生まれ

劇作家、詩人

明治大学独文科に学んだのち、新詩社に入り、詩を発表。北原白秋、木下
杢太郎とともに“『明星』の新詩人三羽鳥”と言われた。明治43年
(1910)、戯曲「歓楽の鬼」で注目され、劇作家として活動。代表作に「飢
渴」「大仏開眼」がある。秀雄の作品は、肉親間の対立、男女心理の葛藤の
構築に特色がある。芸術座、市村座で活躍。新協劇団に秋田雨雀とともに
に参加、新劇界の長老として活躍した。